

新品とアウトレット品・ワケあり品の購入に関する消費者調査結果

株式会社リバリュー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：向笠 元、以下「リバリュー」）は、企業の在庫処分時に懸念事項としてよく挙がる「自社商品を“アウトレット・ワケあり品”として販売することで、“新品”の売れ行きに大きな影響が出ないか？」「ブランド価値の棄損に繋がらないか？」といった声に対する実態を把握するために消費者調査を実施しました。

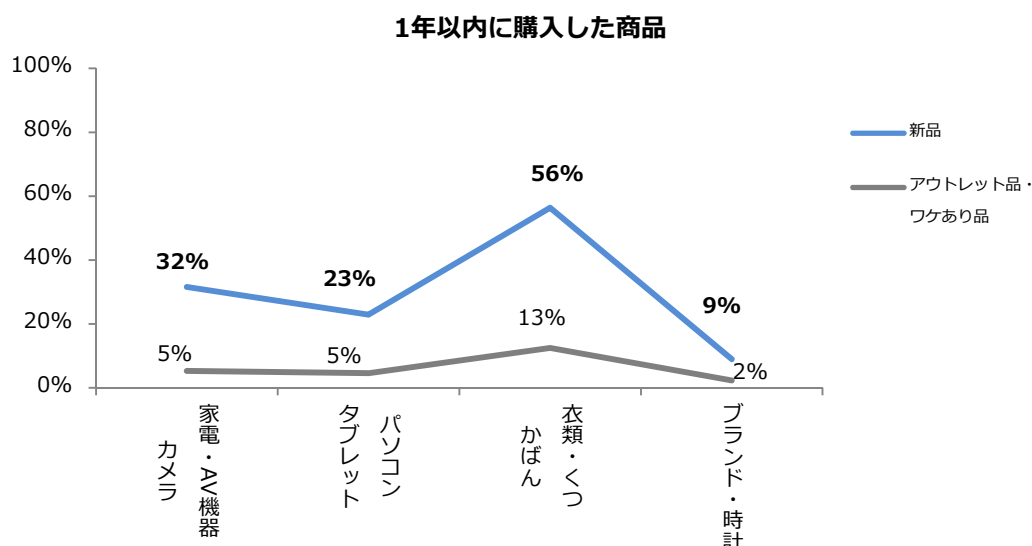
同調査の結果、新品購入者の多くがアウトレット・ワケあり品の購入検討に積極的ではなく、アウトレット・ワケあり品が新品の売れ行きに及ぼす影響は限定的であることが分かりました。一方、アウトレット・ワケあり品購入者は、価格がネックで新品の購入を控える人が多いものの、次回に購入するときも「同じメーカーの商品を購入する」という人が過半を占めることから、アウトレット・ワケあり品の購入がブランド価値を棄損するわけではなく、むしろ今まで新品に手が届かなかった人を新たに顧客化することができる可能性があることが分かりました。

調査結果

1. 「新品」購入者と「アウトレット・ワケあり品」購入者の比率は、およそ5：1
2. 「新品」購入者の70%以上が、新品同士で比較検討して購入し、40%以上が「アウトレット・ワケあり品」はそもそも選択肢として考えたこともない、または不安を感じている
3. 新品購入者のうち、次回は「アウトレット・ワケあり品」の購入を考えている人は約10%
4. 「アウトレット・ワケあり品」購入者の50%以上が安さを理由に購入し、新品は高くて手が出ないと考えている人も30%以上存在
5. 「アウトレット・ワケあり品」購入者の過半が次回の買い替え時も同じメーカー品を購入

1. 「新品」購入者と「アウトレット・ワケあり品」購入者の比率は、およそ5：1

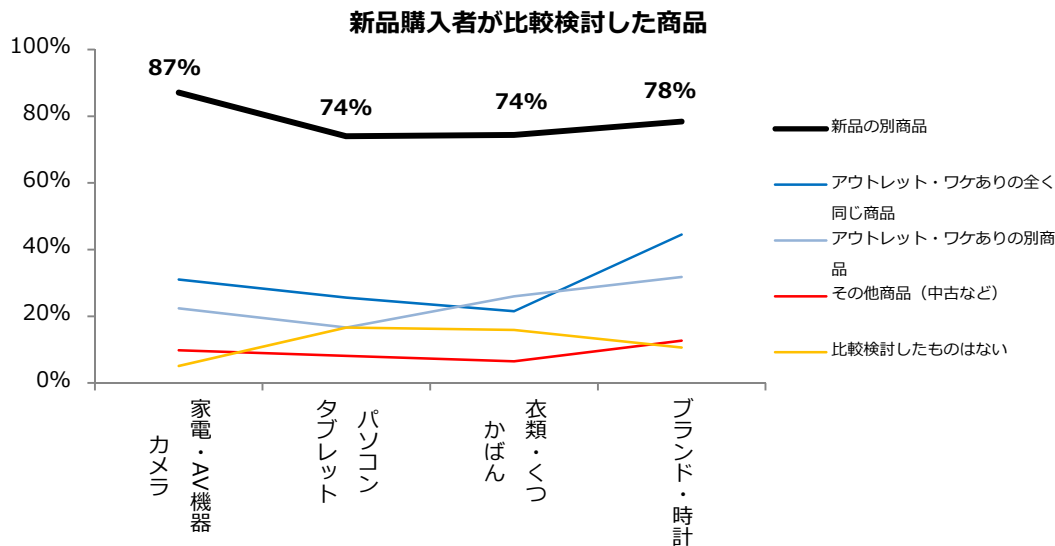
新品購入者とアウトレット・ワケあり品購入者の比率は「家電・AV機器・カメラ」が6:1、「パソコン・タブレット」が5:1、「衣類・くつ・かばん」が5:1、「ブランド・時計」は4:1といった結果。



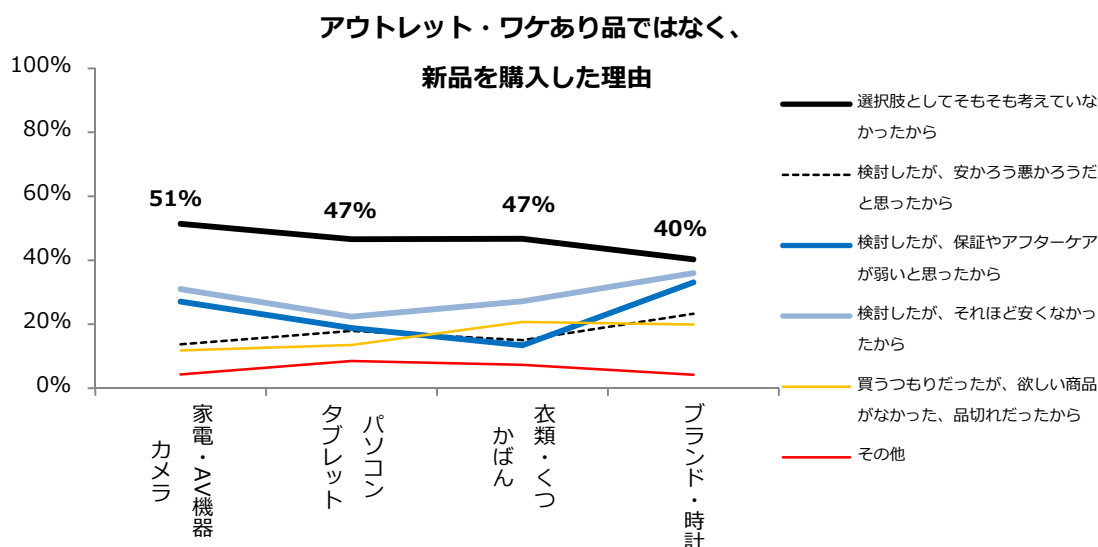
2. 「新品」購入者の70%以上が、新品同士で比較検討して購入し、40%以上が「アウトレット・ワケあり品」は選択肢として考えたこともない、または不安を感じている

新品購入者は、新品の別商品と検討する人が多く、最も少ないパソコン・タブレット、衣類・くつ・かばんでも74%に上り、家電・AV機器・カメラでは87%に上る。

一方、アウトレット・ワケあり品を検討する人は、どの商品も半数以下にとどまる。



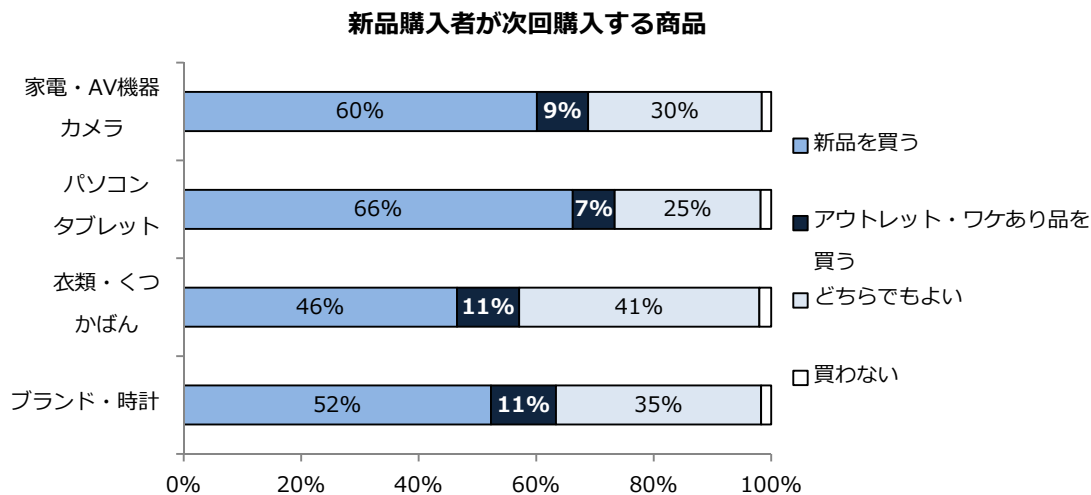
新品購入者は、アウトレット・ワケあり品ではなく、新品を購入した理由として、「アウトレット・ワケあり品はそもそも考えていなかったから」を選んだ人が最も多く、家電・AV機器・カメラでは51%に上る。その他、「安かろう悪かろうだから」「保証やアフターケアが弱いから」という人もそれぞれの商品で20~40%存在する。



3. 新品購入者で次回は「アウトレット・ワケあり品」の購入を考えている人は約 10%

新品購入者は、次回も新品を購入すると回答をした人が最も少ない衣類・くつ・かばんで 46%、最も多いパソコン・タブレットでは 66%に上る。

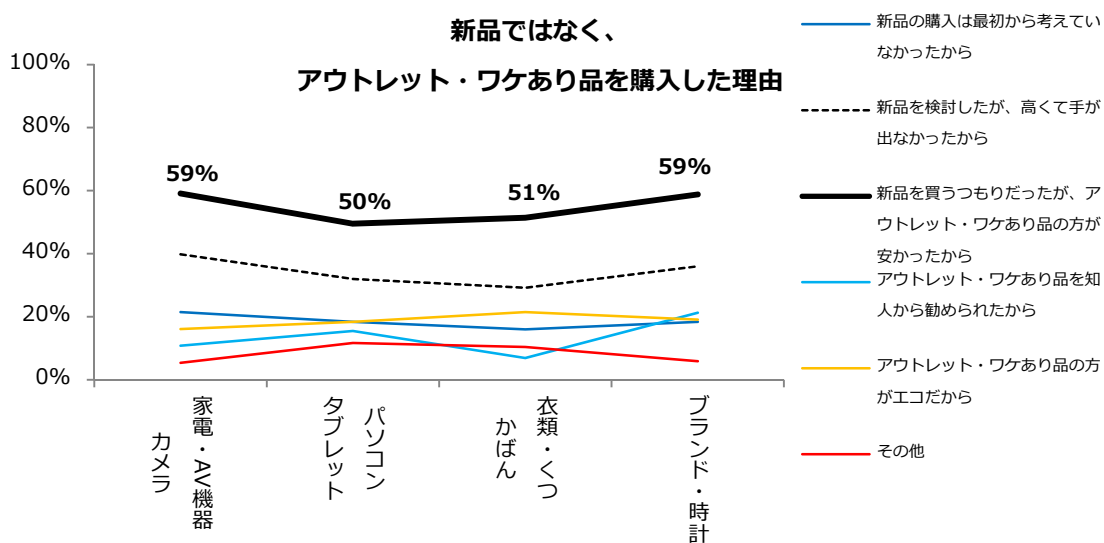
一方、次回はアウトレット・ワケあり品の購入を考えている人はいずれも 10%前後にとどまる。



4. 「アウトレット・ワケあり品」購入者の 50%以上が安さを理由に購入し、新品は高くて手が出ないと考えている人も 30%以上存在

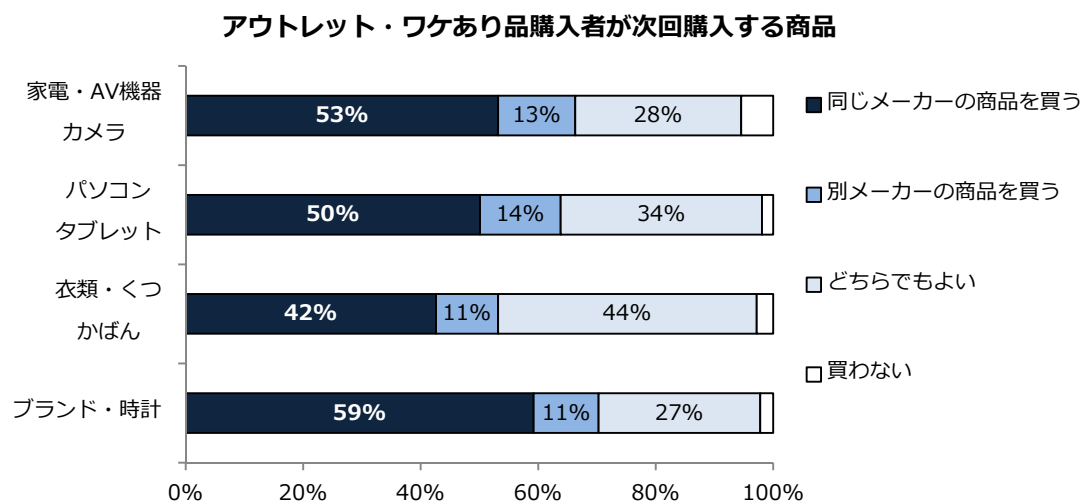
アウトレット・ワケあり品購入者は、新品よりも安いことを理由に挙げる人が、最も少ないパソコン・タブレットで 50%、最も多い家電・AV 機器・カメラ、ブランド・時計で 59%存在する。

また、新品は高くて手が出ないという人も 30%以上存在する。



5. アウトレット・ワケあり品購入者の過半が次回の買い替え時と同じメーカー品を購入

アウトレット・ワケあり品購入者は、次回も同じメーカーを購入する人は、最も少ない衣類・くつ・かばんで42%、最も多いブランド・時計で59%に上る。



【調査概要】

調査対象：全国、20歳以上、男女個人、11,011人※

※スクリーニング対象。本調査では、1年以内の家電・AV機器・カメラ購入者273人、パソコン・タブレット購入者281人、衣類・くつ・かばん購入者283人、ブランド・時計購入者281人を対象に調査

調査時期：2015年10月23日～29日

調査手法：インターネット調査

リバリューは、安心できる在庫処分・買取を実現することで、企業の財務状況改善を今後もサポートしてまいります。

■本件に関する問い合わせ先

株式会社リバリュー <http://revalue.jp/> TEL：03-5926-6766

以上